

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会

平成 28 年 6 月 24 日(金)
10:30～12:00
富山河川国道事務所 3 階 大会議室

< 議 事 次 第 >

1. 開 会
2. 富山県部会長 挨拶
3. 議 題
 - (1) 平成 27 年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（報告）
 - (2) 平成 28 年度の取り組み予定
 - － 建設系学生・生徒への活動
 - － 普通高校、中学、小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み
 - (3) その他 情報共有・意見交換
4. 閉 会

< 配 布 資 料 >

- ・ 議事次第
- ・ 配席図
- ・ 出席者名簿
- ・ 設立趣旨・規約
- ・ 参考資料 平成 27 年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会資料（抜粋）
- ・ 資料 1 富山部会メンバーリスト（H28.4 現在）
- ・ 資料 2 平成 28 年度の活動予定一覧表
- ・ 資料 3 工事現場見学先候補リスト
- ・ 資料 4 新規取り組み等に関する事務所相談窓口（H28.4 現在）
- ・ 資料 5 「富山県インターンシップ推進協議会」への登録状況
- ・ 各会員からの配布資料

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会 2016/6/24 出席者名簿

所 属	役 職	氏名	出席
(一社)日本建設業連合会	北陸支部 広報委員	永田 健二	○
(一社)富山県建設業協会	常務理事	生駒 秀和	○
(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	吉田 攻	×
(一社)富山県測量設計業協会	会長	栄 知之	○
	副会長	鷲北 慎一	○
富山大学 工学部長		堀田 裕弘	○
富山県立大学 工学部環境工学科		手計 太一	○
富山工業高校	校長	當流谷正博	×
	土木工学科長	帰山 寛	×
桜井高校	校長	高松 敬郎	○
	土木科学科長	稲垣 利治	○
高岡工芸高校	土木環境科主任	内山 純治	×
南砺福野高校	農業環境科長	中藪 睦	○
富山労働局	職業対策課長	森本 滋	○
北陸地方整備局 建政部	計画・建設産業課長	荒川 雅之	×
富山河川国道事務所	事務所長	福濱 方哉	○
富山県	土木部建設技術企画課長	舟田 浩志	○
富山県教育委員会	県立学校課長	荒木 義雄	×
富山県地質調査業協会	会長	津嶋 春秋	○
(一社)日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	林 和夫	○

(代理:梅基 英明)

(代理:岩原 善延)

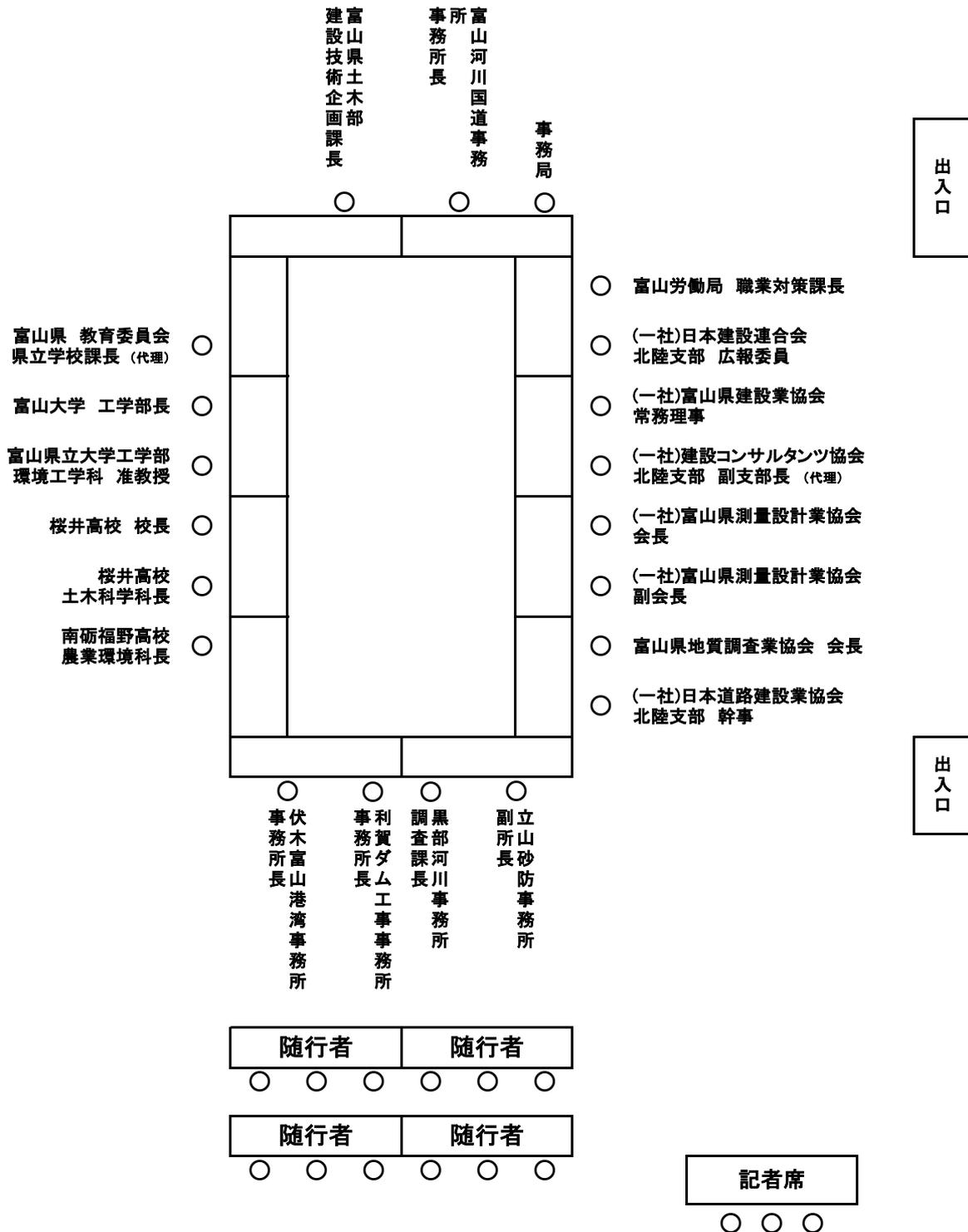
○: 部会長

オブザーバー

立山砂防事務所	副所長	浅井 誠二
立山砂防事務所	調査課長	石井 崇
黒部河川事務所	調査課長	山田 義仁
利賀ダム工事事務所	事務所長	黒田 勇一
伏木富山港湾事務所	事務所長	森 弘継
伏木富山港湾事務所	副所長	関口 忠志
伏木富山港湾事務所	前任建設管理官	若島宏治

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 配 席 図

日時:平成28年 6月24日(金)10:30~12:00
会場:富山河川国道事務所 3階大会議室



北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第1条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第3条 協議会の構成員は、別紙1のとおりとする。

（座長）

第4条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第5条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第6条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙2に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙2のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（事務局）

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境・建設系	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	地方事業評価管理官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	教育次長 兼 学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎：座長

○：部会長

富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学 工学部長	
6	富山県立大学 工学部 環境工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	南砺福野高校	農業環境科長
13	富山労働局	職業対策課長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事

○：部会長

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第1条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第3条 協議会の構成員は、別紙1のとおりとする。

（座長）

第4条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第5条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第6条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙2に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙2のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（事務局）

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境・建設系	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	地方事業評価管理官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	教育次長 兼 学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎：座長

○：部会長

富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学 工学部長	
6	富山県立大学 工学部 環境工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	南砺福野高校	農業環境科長
13	富山労働局	職業対策課長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事

○：部会長

平成28年度の活動予定一覧表
【建設系学生・生徒への取り組み・調整状況】

資料2

平成28年6月現在

県	市町村	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	開催場所	担当教官・連絡先				調整者・連絡先			H28 新規 or 継続					
										学部	学科	役職	氏名	機関・団体名	担当課	担当者		支援・連携状況(機関、業団体等)				
1	富山県	富山市	富山県立大学	大学	講座	1年生	41	6月24日	講座	学校	工学部	環境工学科			立山砂防事務所							継続
2	富山県	富山市	富山県立大学	大学	現場見学	1年生	41	7月5日	現場見学	立山砂防	工学部	環境工学科			立山砂防事務所							継続
3	富山県	富山市	富山工業高校	高校	現場見学	1～3年生	5	8月2日～4日	現場見学および現場体験(SABO体験楽校) ※2泊3日	立山砂防		土木工学科			立山砂防事務所			(一財)富山・水・文化の財団				継続
4	富山県	黒部市	桜井高校	高校	現場見学	1～3年生	5	8月2日～4日	現場見学および現場体験(SABO体験楽校) ※2泊3日	立山砂防		土木科			立山砂防事務所			(一財)富山・水・文化の財団				継続
5	富山県	高岡市	高岡工芸高校	高校	現場見学	3年生	40	7月13日	現場見学(国道359号砺波東バイパス 橋梁下部工事)	道路		土木環境科			富山河川国道事務所			富山河川国道事務所				継続
6	富山県	黒部市	桜井高校	高校	現場見学	2年生	40	9月	海岸工事現場見学	海岸		土木科			黒部河川事務所			富山県建設業協会 入善支部				継続
7	富山県	黒部市	桜井高校	高校	現場見学	1年生	40	10月	宇奈月ダム見学	宇奈月ダム		土木科			黒部河川事務所			富山県建設業協会 入善支部				継続
8	富山県	黒部市	桜井高校	高校	講座	2年生		2月	講座(土木について) ※民間と公務員の仕事の違い	学校		土木科			黒部河川事務所			富山県建設業協会 入善支部				継続
9	富山県	黒部市	桜井高校	高校	講座	3年生	40	9月	身近な行政機関の仕事(黒部の事業)について	学校		土木科			黒部河川事務所							継続
10	富山県	黒部市	桜井高校	高校	現場見学	1年生 3年生	20	8月	(部活動)土木部 宇奈月ダム・黒部川・下新川海岸現地見学(身近な土木構造物を学ぶ)	ダム 河川 海岸		土木科、普通科			黒部河川事務所							新規
11	富山県	黒部市	桜井高校 ほか	高校	その他	高校 大学 女性 技術者	10	8月	けんせつ小町と女子学生の対談(女性の視点から見た建設業)	黒部 河川		高校:土木科、 普通科 大学:農学部 ほか			黒部河川事務所			黒部河川事務所				継続
12	富山県	南砺市	南砺福野高校	高校	現場見学と 講座	1年生	37	7月12日 or 7月5日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀 ダム		農業環境科			利賀ダム工事事務所			利賀ダム工事事務所				継続
13	富山県	射水	富山県立大学	大学	現場見学と 講座	1年生	41	7月30日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀 ダム	工学部	環境工学科			利賀ダム工事事務所			利賀ダム工事事務所				継続
14	富山県	富山市	富山工業高校	高校	現場見学			9～11月	現場見学会(土木に対する興味を持たせる)	伏木 富山港		土木工学科			伏木富山港湾事務所			(一社)日本埋立 浚渫協会 北陸支部	伏木富山港湾事 務所	富山河川国道事 務所		継続
15	富山県	富山市	富山工業高校	高校	講座			11～12月	座学(インフラの歴史と役割について)	学校		土木工学科			伏木富山港湾事務所			伏木富山港湾事 務所	富山河川国道事 務所			継続
16	富山県	黒部市	桜井高校	高校	現場見学	3年生	40	6月3日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・沖田川放水路事業 ・富山駅連続立体事業	現場		土木科			(一社)富山県 建設業協会			富山県土木部 新川土木セン ター				継続
17	富山県	富山市	富山工業高校	高校	現場見学	3年生	40	7月12日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・県立美術館新築事業 ・富山中央警察署新築事業	現場		建築工学科			(一社)富山県 建設業協会			富山県土木部 営繕課				新規
18	富山県	高岡市	高岡工芸高校	高校	現場見学	2年生	40	7月15日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・志貴野中学校改修事業 ・勝興寺改修事業	現場		建築科			(一社)富山県 建設業協会			富山県土木部 営繕課				新規

平成28年度の活動予定一覧表
【建設系学生・生徒への取り組み・調整状況】

資料2

平成28年6月現在

県	市町村	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	開催場所	担当教官・連絡先				調整者・連絡先			支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続				
										学部	学科	役職	氏名	機関・団体名	担当課	担当者						
19	富山県	富山市	富山工業高校	高校	現場見学	2年生	40	9月23日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・場所未定	現場		土木工学科			(一社)富山県建設業協会						継続	
20	富山県	高岡市	高岡工芸高校	高校	現場見学	2年生	40	9月30日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・場所未定	現場		土木環境科			(一社)富山県建設業協会						継続	
21	富山県	南砺市	南砺福野高校	高校	現場見学	1年生	30	未	土木工事の施工方法、目的の理解 ・場所未定	現場		農業環境科			(一社)富山県建設業協会						継続	
22	富山県	富山市他	富山工業高校 桜井高校 高岡工芸高校	高校	その他	3年生	未定	7月以降	測量設計の現場体験を将来に生かしてもらうためのインターンシップ受入れ	各企業					(一社)富山県測量設計業協会						継続	
23	富山県	富山市他	富山工業高校 桜井高校	高校	その他	2・3年生	未定	8月以降	北陸建設界の担い手となる高校生に、県内の土木遺産や施設を見学することにより、先人たちの知恵や功績についての見識を深めてもらうインフラツーリズムを実施	黒部 関電 ルート					(一社)富山県測量設計業協会			関西電力北陸支社			継続	
24	富山県	富山市	富山県立大学	大学	その他		未定	10月以降	協会主催の設計技術研修会を開催。 官学産連携と位置づけ、協会の外、富山県職員や県立大学生3名が聴講					(一社)富山県測量設計業協会			富山県立大学 富山県土木部				継続	
25	富山県	射水市	富山県立大学	大学	その他	大学2・3 年生、 院1年生			・建設コンサルタンツPR冊子の配布 ・上記を利用した建設コンサルタント業務の説明会ニーズ確認	大学	工学部	環境工学科			建設コンサルタンツ協会 北陸支部						継続	
26	富山県	射水市	富山県立大学	大学	その他	全学年		8月8日	・8月8日に建設コンサルタンツ協会北陸支部主催「業務・研究発表会」を行政機関からの後援を頂き開催。 ・審査員として、金沢大学高山教授、北陸地方整備局高島地方事業評価管理官、石川県(未定)にお願いし、学生講演2題も予定し、北陸支部管内の9大学11学部にも開催と聴講のご案内を昨年同様に行う予定です。	金沢 市内					建設コンサルタンツ協会 北陸支部			北陸地方整備局 石川県				継続
参考	石川県	津幡	石川工業高等 専門学校	高専	現場見学	3年生	40	10月	宇奈月ダム・黒部川・下新川海岸現地見学(公共事業を学ぶ)	ダム 河川 海岸		環境都市 工学科			黒部河川事務所							継続
参考	石川県	津幡	石川工業高等 専門学校	高専	現場見学 と講座	1年生	41	7月19日	現場見学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀 ダム		環境都市 工学科			利賀ダム工事事務所							継続
参考	石川県	津幡	石川工業高等 専門学校	高専	現場見学 と講座	3年生	41	10月4日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀 ダム		環境都市 工学科			利賀ダム工事事務所							継続
参考	石川県	金沢市	金沢大学	大学	現場見学	1年生	25	夏休み	日建連担い手部会員(石川・富山)共同で学生向けの現場見学会を開催予定。	金沢市 近傍	工学部	環境デザイン学類			日本建設業連合会							継続

平成28年度の活動予定一覧表
【中学・小学校(保護者や教員等含む)等への取り組み・調整状況】

資料2

平成28年6月現在

県	市町村	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	開催場所	担当教官・連絡先				調整者・連絡先			支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続		
										学部	学科	役職	氏名	機関・団体名	担当課	担当者				
1	富山県	上市町	陽南小学校	小学校	その他	16	7月14日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼろ探検隊)	立山砂防					立山砂防事務所			富山県富山土木センター 立山土木事務所			継続
2	富山県	富山市	芝園小学校	小学校	その他	90	7月8日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼろ探検隊)	立山砂防					立山砂防事務所			(公社)富山法人会			継続
3	富山県	射水市	市内全域対象	小学校	現場見学	5年生	195	6~9月	現場見学と港の役割について	伏木富山港				伏木富山港湾事務所			射水市港湾・観光課			継続
4	富山県	高岡市	市内全域対象	小学校	現場見学	5年生	230	7月	現場見学と港の役割について	伏木富山港				伏木富山港湾事務所			高岡市みなと振興課			継続
5	富山県	富山市	岩瀬小学校	小学校	現場見学	高学年	未定	現場見学と港の役割について	伏木富山港					伏木富山港湾事務所						継続
6	富山県	砺波市	鷹栖小学校	小学校	現場見学と講座	5年生	26	9~10月	現場見学と港の役割について	伏木富山港				伏木富山港湾事務所						新規
7	富山県	富山市	親子現場見学	小学校	現場見学	未	未	8月5日	土木事業への理解 ・場所未定	現場				(一社)富山県建設業協会						継続
8	富山県	滑川市	東部小学校	小学校	講座	5・6年生	50	6月24日	測量の日の関連行事として、「地図教室」、「測量実習」を開催し、地図記号の意味や、測量機器に触れることにより、測量に理解と関心を持ってもらう	小学校				(一社)富山県測量設計業協会			国土地理院北陸地方測量部			継続
9	富山県		富山県内小・中学校	小中学校	講座	小学校4~6年生 中学1・2年生		7~2月	・小学校からの要望を受け、平成16年から北陸支部管内の小学校4年生から中学校2年生までを対象に「出前講座」を行っております。 子どもたちが興味をもって調べたり、学校からの要望等を踏まえながら、講座内容を検討したいと考えております。別添チラシのとおり	小・中学校				建設コンサルタンツ協会北陸支部						

◆大学カリキュラムの連続講座の開設等

平成28年6月現在

大学		H28開催状況(予定含)		カリキュラム	窓口事務所	(参考)H27実績	
富山県立大学	(1年生)	1回目	6月24日	講座	立山砂防(総論)	6月19日	富山河国(総論)
		2回目	7月5日	現場見学	立山砂防(砂防)	6月26日	富山河国(道路)
		3回目	7月30日	座学+現場見学	利賀ダム工事	7月3日	伏木富山(港湾)
	7月10日					富山河国・伏木富山	
	(2年生)					11月6日	黒部河川(総合土砂)
						11月23日	黒部河川(総合土砂)
						1月29日	黒部河川(総合土砂)

富山大学	調整中
------	-----

◆建設系高校における講座の開設等

高校		H28開催状況(予定含)		カリキュラム	窓口事務所	(参考)H27実績	
富山工業	1年生	2学期	9~11月	現場見学 (埋立浚渫協会共催)	伏木富山港湾	9月8日	伏木富山港湾
	2年生	2学期	11~12月	講座 (インフラの歴史と役割)	伏木富山港湾	12月11日	伏木富山港湾
	2年生	2学期	9月23日	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(事務所連携)	9月25日	富山市・富山県・富山河国
	2年生	2学期	7月12日	現場見学 (建設業協会主催)	(富山県土木部)	-	-
	1~3年生	夏期	8月2~4日	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	8月4~6日	立山砂防
桜井高校	1年生	2学期	10月	現場見学 (宇奈月ダム見学)	黒部河川	10月27日	黒部河川
	2年生	2~3学期	9月	現場見学 (海岸工事)	黒部河川	9月28日	黒部河川
	2年生	3学期	2月	講座 (土木について)	黒部河川	2月16日	黒部河川
	3年生	1学期	6月3日	現場見学 (建設業協会主催)	(富山県土木部)	5月29日	富山県・黒部河川
		1学期	9月	講座 (黒部の事業について)	黒部河川	6月19日	黒部・立山砂防
	1~3年生	夏期	8月	現地見学 (身近な土木構造物を学ぶ)	黒部河川	8月3日	黒部
1~3年生	夏期	8月2~4日	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	8月4~6日	立山砂防	
高岡工業	2年生	2学期	9月30日	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(事務所連携)	10月2日	高岡市・富山県・富山河国
	3年生	1学期	7月13日	現場見学 (道路工事現場)	富山河国	7月2日	富山河国
	2年生	1学期	7月15日	現場見学 (建設業協会主催)	(富山県土木部)	-	-
南砺福野	1年生	1学期	7月5日 or12日	現場見学	利賀ダム工事	7月10日	利賀ダム工事
	2年生	未定		現場見学	利賀ダム工事	7月10日	利賀ダム工事
	1~3年生	未定		現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(事務所連携)	10月20日	富山県・伏木富山・富山河国

実施内容等は窓口事務所・協会と学校側で調整済又は調整中のもの

工事現場見学先 候補リスト

※今後発注予定の工事は含みません。
今後の工事の進捗状況によって、記載内容は変更する場合があります。

種別	工事内容(工事名)	見学可能時期(月)	地先	内容	調整者・連絡先					
					事務所	担当課	担当者			
1	河川	黒部川特有の堤防侵食対策工(縦工)	10 ~ 12	黒部市 宇奈月町浦山	日本有数の急流河川である黒部川において、堤防浸食を防止するための黒部川独自の工法である縦工の施工現場を見学することができる。期間中は、バックホウによる掘削や、クレーンによる根固めブロックの据付等を実施予定。	黒部河川	調査課	山田義仁		
2	海岸	富山湾の寄り回り波に耐える大型ブロックの製作(海岸コンクリートブロック製作工)	11 ~ 翌2	入善町 芦崎	日本一侵食の激しい下新川海岸において、離岸堤の異形ブロックの製作を見学することができる。期間中は30tを超える大型ブロックの製作作業(コンクリート打設、脱型、転置)を実施中。					
3	海岸	海上で船により施工する副離岸堤工事(副離岸堤新設工事)	9 ~ 10	入善町 吉原	日本一侵食の激しい下新川海岸において、全国でも設置例の少ない副離岸堤の新設工事を見学することができる。期間中は、起重機船(クレーン付の作業船)でのブロック投入や、潜水士によるブロック据付作業を見学することができる。					
4	道路	猪谷橋下部工事	7 ~ 12	富山市 猪谷	神通川左岸に施工する、猪谷橋下部工の基礎をニューマチックケーソン工で施工するものです。	富山河川国道	調査第二課	貽谷卓也		
5	道路	猪谷橋下部その2工事	12 ~ 翌3	富山市 舟渡	神通川右岸に施工する、猪谷橋下部工の基礎を斜め基礎工で施工するものです。					
6	道路	いかるぎの大橋下部その2, 3, 4工事	7 ~ 10	砺波市 徳万	いかるぎの大橋下部工を施工する。型枠、鉄筋組立、コンクリート打設を行う。					
7	道路	いかるぎの大橋下部その5, 6, 7工事	12 ~ 翌3	砺波市 徳万	いかるぎの大橋下部工を施工する。型枠、鉄筋組立、コンクリート打設を行う。					
8	道路	茅畑橋下部その1工事	8 ~ 12	小矢部市 芹川	小矢部川右岸に施工する茅畑橋下部です。型枠、鉄筋組立、コンクリート打設を行う。					
9	道路	茅畑橋下部その2工事	11 ~ 翌3	小矢部市 芹川	小矢部川低水敷に施工する。橋脚基礎工を、オープンケーソン工で施工するものです。					
10	道路	茅畑橋下部その3工事	11 ~ 翌3	小矢部市 芹川	小矢部川左岸に施工する茅畑橋下部です。型枠、鉄筋組立、コンクリート打設を行う。					
11	河川	小矢部川と支川合又川の合流点処理事業	12 ~ 翌2	小矢部市 茄子島	支川合又川の堤防高さが低く、小矢部川が洪水となった場合、小矢部川の洪水流が合又川へ逆流して氾濫し、甚大な被害が発生する可能性が高いことから、逆流を防ぐため樋門を設け、治水安全度を高める工事を実施中である。樋門は既に完成しているが、合又川の付替並びに現合又川を閉じて築堤護岸工事を実施している状況が確認できる。 ※女性技術者「チーム合又川」始動中					
12	河川	常願寺川 急流河川対策工(低水護岸工事)	11 ~ 翌2	富山市 朝日	急流河川常願寺川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(施工延長約80m)を見学することができる。 急流河川対策工法、ブロックの大きさ、バックホウによる掘削、クレーンによる根固めブロック及び根固め水制の設置などを確認することができる。				調査第一課	池田大介
13	河川	神通川 急流河川対策工(低水護岸工事)	11 ~ 翌2	富山市 鶴坂	急流河川神通川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(施工延長約100m)を見学することができる。 急流河川対策工法、ブロックの大きさ、バックホウによる掘削、クレーンによる根固めブロック及び根固め水制の設置、仮締切工の状況などを確認することができる。					
14	河川	庄川 急流河川対策工(低水護岸工事)	11 ~ 翌2	射水市 土合	急流河川庄川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(土合地先:施工延長約80m)を見学することができる。 急流河川対策工法、ブロックの大きさ、バックホウによる掘削、クレーンによる根固めブロック及び根固め水制の設置、仮締切工の状況などを確認することができる。					
15	河川	庄川 急流河川対策工(低水護岸工事)	11 ~ 翌2	砺波市 下中条	急流河川庄川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(下中条地先:60m)を見学することができる。 急流河川対策工法、ブロックの大きさ、バックホウによる掘削、クレーンによる根固めブロック及び根固め水制の設置、仮締切工の状況などを確認することができる。					
16	ダム	鋼アーチ橋の架設(利賀ダム庄川橋梁上部工事)	6 ~ 11	南砺市 利賀村栃原	利賀ダム建設事業における生活関連道路である庄川橋梁(鋼上路式アーチ橋)の上部工架設(ケーブルクレーン)現場を見学することができる。	利賀ダム 工事	副所長	岡田茂彦		
17	ダム	鋼アーチ橋の架設(利賀ダム豆谷橋梁上部その2工事)	6 ~ 11	南砺市 利賀村大豆谷	利賀ダム建設事業における生活関連道路である豆谷橋梁(鋼中路式ローゼアーチ橋)の上部工架設(トラベラクレーン)現場を見学することができる。					
18	港湾	岸壁本体となるスリットケーソン製作工事(岸壁(-10m)(2号)改良)本体工事	10 ~ 11	射水市 片口	ケーソン製作専用の船上(フローティングドック)で製作する、鉄筋コンクリート製のスリットケーソン(完成時:幅9.5m×長さ13.6m×高さ11.1m、2箇所同時製作)の製作過程を見学することができる。 期間中は、鉄筋組立、コンクリート型枠組立、コンクリート打設等を実施予定。	伏木富山 港湾	先任建設 管理官	若島宏治		
19	港湾	大水深棧橋式岸壁の軟弱地盤改良工(岸壁(-12m)(北)築造工事)	7 ~ 9	射水市 越の潟	国際物流ターミナル延伸整備事業において、岸壁背面の軟弱地盤を改良するための地盤改良工(施工延長75m)の施工現場を見学することができる。期間中は、FTJ施工機(高圧噴射攪拌工)による地盤改良を実施予定。					
20	港湾	大水深岸壁延伸のための浚渫工(泊地(-12m)(北)浚渫外1件工事)	10 ~ 12	射水市 越の潟	国際物流ターミナル延伸整備事業において、岸壁前面を増深するための浚渫工(施工延長96.4m)の施工現場を見学することができる。期間中は、クラブ浚渫船による地盤改良を実施予定。					

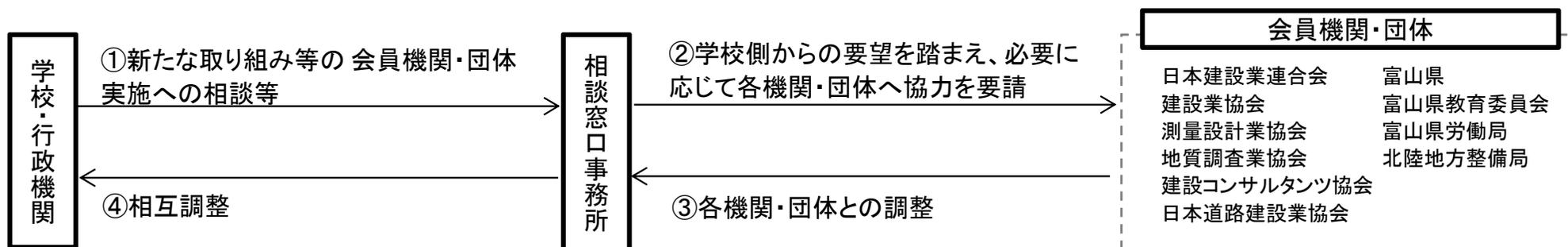
工事現場見学先候補
位置図(参考)



新規取り組み等に関する事務所相談窓口(H28.4現在)

組織名	担当事務所	役職	氏名	連絡先	メールアドレス	備考
富山大学	富山河川国道事務所	調査第一課	池田大介	076-443-4715	ikedad85aa@mlit.go.jp	
富山県立大学						
高岡工芸高校						
富山工業高校	伏木富山港湾事務所	前任建設管理官	若島宏治	076-441-1904	wakashima-k84xz@pa.hrr.mlit.go.jp	
桜井高校	黒部河川事務所	調査課	山田義仁	0765-52-4686	yamada-y84vb@mlit.go.jp	
南砺福野高校	利賀ダム工事事務所	副所長	岡田茂彦	0763-33-4701	okada-s84mk@mlit.go.jp	
富山県	富山河川国道事務所	調査第一課	池田大介	076-443-4715	ikedad85aa@mlit.go.jp	
富山県教育委員会						

(参考)活用フロー



※本相談窓口は、担い手確保に関する取り組みについて、これまでに各校と各機関・団体の間で築かれている既存の調整体制に変えるものではありません。
 今まで関係を持っていない機関・団体の協力が必要な場合や、複数の機関の協力が必要な取り組みなど、今後新たに実施を検討される場合の窓口として設置。

「富山県インターンシップ推進協議会」への登録状況

昨年度に引き続き、当事務所より富山県部会会員宛てに、本年度の富山県インターンシップ参加内容確認書（継続登録企業用）及び参加申込書（新規登録企業用）を送付し、協会等構成員の企業の皆様への登録働きかけを依頼。

平成28年6月時点で、インターンシップ推進協議会HPにおいて、建設業30社（対前年度+1社）、建設コンサルタント業等14社（対前年度-4社）の登録があり、現在学生の受け入れを募集中。

詳細は富山県インターンシップ推進協議会HPを参照：

<http://www.internship-toyama.jp>

【建設業】

企業・団体名	サイト	地域	協会
1 朝日建設株式会社	HP	富山地区	○
2 安達建設株式会社	HP	砺波地区	○
3 アルカスコーポレーション株式会社	HP	砺波地区	○
4 大高建設株式会社	HP	新川地区	○
5 岡本工業株式会社	HP	富山地区	○
6 株式会社開進堂	HP	高岡地区	
7 株式会社柿本商会	HP	富山地区	
8 川田工業株式会社	HP	砺波地区	○
9 共栄興業株式会社	HP	富山地区	
10 黒部エムテック株式会社	HP	新川地区	
11 酒井建設株式会社	HP	新川地区	○
12 笹嶋工業株式会社	HP	砺波地区	○
13 塩谷建設株式会社	HP	高岡地区	○
14 昭和建設株式会社	HP	高岡地区	○
15 有限会社シンワ電工	-	富山地区	
16 住澤塗装工業株式会社	HP	富山地区	
17 タカノグループ（タカノ建設(株)・タカノホーム(株)）	HP	富山地区	○
18 株式会社竹原工務店	HP	富山地区	○
19 第一交易株式会社	HP	砺波地区	
20 株式会社東城	HP	新川地区	○
21 得能建設工業株式会社	HP	砺波地区	○
22 砺波工業株式会社	HP	砺波地区	○
23 日本海電業株式会社	HP	新川地区	
24 株式会社野上緑化	HP	富山地区	
25 株式会社ハマデン	HP	富山地区	
26 株式会社林土木	HP	富山地区	○
27 株式会社ほくつう 富山支店	HP	富山地区	
28 北陸電気工事株式会社	HP	富山地区	
29 松下電建株式会社	HP	富山地区	
30 松本建設株式会社	HP	砺波地区	○

【学術研究、専門・技術サービス業、すべて】等

企業・団体名	サイト	地域	協会
1 株式会社アイバック	HP	富山地区	
2 Ation One 合同会社	HP	富山地区	
3 株式会社ジェック経営コンサルタント	HP	富山地区	
4 株式会社新日本コンサルタント	HP	富山地区	○
5 日本海環境サービス株式会社	HP	富山地区	
6 株式会社ヒューマン・サポート	HP	富山地区	
7 株式会社PCO	HP	富山地区	
8 北電技術コンサルタント株式会社	HP	富山地区	○
9 北陸コンサルタント株式会社	HP	富山地区	○
10 ヤマト地質調査株式会社	-	富山地区	○
11 株式会社理想経営	HP	富山地区	
12 株式会社アーキジオ	HP	高岡地区	○
13 館下コンサルタンツ株式会社	HP	富山地区	○
14 株式会社寺島コンサルタント	HP	富山地区	○

各会員からの配布資料

富山県	P1
富山労働局	P2
(一社)建設コンサルタント協会 北陸支部	P3
国土交通省	P5

出前講座の概要

建設業就職PR事業

目的：建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信し、進路の参考としてもらうもの。

（建設業界・行政が一体となって高校等を訪問し、生徒に建設業の社会的な役割やものづくりの素晴らしさを直接語りかけ、交流する。）

主催：富山県、富山県建設業協会

対象者：高校2年生とその保護者、進路指導担当教諭

内容：○建設業の役割や魅力について説明

- ・建設業に就職している各高校の卒業生
- ・その地域の建設業の経営者等
- ・県の土木職員

○意見交換、質疑応答

開催時期：各高校と相談

広報誌「TSUKURU」

女子レポ
による

建設業の魅力はコレ！

私たちが見つけた建設業の「いいね！」

**👍 地図に残る世界に
一つのものづくり！**

建設業は、何もなくて世界に一つだけのモノをつくり上げるものづくりの魅力あふれる仕事でした。

自分が手がけた他にないたった一つのモノが、いつまでも地図に刻まれ、未来に残っていくこと、それが他の仕事にない建設業の大きな魅力ですね！

Natsumi Takaoka

**👍 人との出会い、
現場の一体感！**

現場では、監督さんやいろんな職人さんが協力して仕事していたことが印象的でした。みんな一つのものをつくり上げていく姿がかっこよかったです。完成というみんなの夢が叶ったときの達成感は何物にも代えられない！

建設業は、いろんな人との仕事を通じて自分を成長させられる素敵な仕事だなと思います。

Ayaka Watanabe

**👍 みんなの暮らしを
支えるやりがい！**

災害はいつ起こるか分からないけど、建設業のみなさんがつくるモノが、私達を人知れず守ってくれていることを知りました。

水害や地震などの災害が増えてきているようにも思うので、建設業は、今後ますます大事な仕事だと思います！みんなの安全と安心な暮らしを支える、やりがいのある仕事ですね！

Marie Taguchi

「建設労働者確保育成助成金」の一部を改正しました

「建設労働者確保育成助成金」は、建設労働者の雇用の改善や職業訓練などを実施する建設事業主や建設事業主団体に対して、経費や賃金の一部を助成する制度です。

若年労働者の確保・育成と女性労働者の活躍の推進などを目的として、**平成28年4月1日から**助成内容や手続きの一部について、下記のとおり改正を行いましたのでご注意ください。

<主な改正内容>

★マークは新規または拡充

コース		現 行
認定訓練コース (賃金助成)	年度上限額	なし
	助成対象の実習内容	技能等の習得に関する実習 技術検定に関する講習(通学・通信)
技能実習コース (経費助成)	対象者と助成割合	中小建設事業主・団体 [助成率8~9/10]
	1回の限度額	1人あたり20万円
	修了条件	なし
	添付書類	賃金台帳は必要に応じて提出
技能実習コース (経費助成・賃金助成)	年度上限額	なし
雇用管理制度コース	対象制度と助成額	【本助成金の対象】 ①制度導入助成 ②目標達成助成(離職率改善) ③目標達成助成(入職率改善)
登録基幹技能者 処遇向上コース		新規助成メニュー★
女性専用作業員 施設設置コース		新規助成メニュー★
新分野教育訓練コース		-

改正内容
1 事業所あたり1,000万円* ¹
①技能等の習得に関する実習 ②技能等の指導方法改善に関する実習* ² ★
技術検定に関する講習(通学のみ)* ²
①中小建設事業主・団体 [助成率8~9/10] ②中小建設事業主・団体以外 [助成率5/10]* ² ★ (②は女性労働者を対象とする場合のみ)
1人あたり10万円* ²
カリキュラムの7割以上の修了が必要* ²
経費助成のみでも賃金台帳などの提出が必須* ² (実習期間中の賃金の支払いを確認します)
1 事業所あたり経費助成・賃金助成 あわせて500万円* ²
【本助成金の対象】 ③目標達成助成(入職率改善)* ³
(注)左記①と②は「職場定着支援助成金(個別企業助成コース)」に統合され、③は①と②の支給決定を受けた建設事業主が入職率目標も達成した場合に助成* ³
中小建設事業主が雇用する登録基幹技能者の賃金テーブルまたは資格手当を増額改定した場合に助成
【主な要件】 ①賃金テーブルの増額 ・基本給単価を3%以上増額 ・年間の基本給を3%以上かつ15万円以上増額 ②登録基幹技能者手当の増額 月額12,500円以上かつ年間15万円以上増額 (注)①②いずれの場合も、年間の賃金総額も15万円以上増額していることが要件
【助成額】 登録基幹技能者1人あたり年額10万円 (注)2年目、3年目も同様に増額改定する場合はそれぞれ年額10万円を助成
中小元方建設事業主が自ら施工管理する建設工事現場に女性専用作業員施設を整備した場合に助成
【対象施設】 トイレ・更衣室・シャワー室・浴室 【助成額】 施設の賃借料の2/3 (注)年間上限額1事業所あたり60万円
平成28年3月31日計画届受理分をもって廃止

※1 平成28年4月1日以降に実施される認定訓練と技能実習から適用されます。

※2 平成28年4月1日以降に提出される計画届に基づく技能実習から適用されます。

※3 平成28年3月31日までに提出された雇用管理制度コースの計画届分は、①と②ともに本助成金によって支給されます。

“小・中学校出前講座”のご案内

建設コンサルタンツ協会北陸支部では、社会貢献活動の一環として小・中学生を対象とした出前講座を行っています。これは、社会資本整備について知ってもらうとともに、建設コンサルタントという仕事を理解してもらうことを目的としています。

具体的には、学校の单元と連携し、さらには、学校のニーズを踏まえながら内容を企画いたしますので、是非ご利用下さいますよう、お願いいたします。



■対象者■

小学校 4～6年生

中学校 1・2年生



■講師■

建設コンサルタンツ協会北陸支部 会員

■費用■

全て当協会に対応する予定 (講師料・教材等)

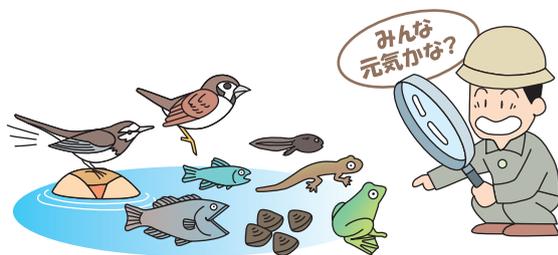
■出前講座の内容 (例) ■

- 建設コンサルタントの**仕事紹介**
- 私たちの生活と**環境問題**について
- 暮らしの中の**地球温暖化**
- トキが繁殖**できる環境とは？
生態系保全と生物多様性について
- これからの**まちづくりと暮らし**
- にいがたの**公共交通**
- いざという時 ～**防災技術**と私たち～
- にいがたの**景観・自然環境** など

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

小・中学生のための出前講座の実績

開催日	開催地区	講演テーマ
第1回 (H16.10.13)	新潟(新潟市立木戸中学校)	「世界は人でつながっている」
第2回 (H17.12.05)	石川(金沢市立森本中学校)	「金沢の偉人土木技術者 八田與一」
第3回 (H19.02.22)	富山(南砺市立城端中学校)	「建設コンサルタンツって知ってる?」
第4回 (H19.06.13)	新潟(新潟市立上山中学校)	「まちづくり コンパクトシティー」
第5回 (H19.10.02)	新潟(新潟市立上山中学校)	「にいがたの都市交通」
第6回 (H19.11.08)	石川(金沢市立犀生中学校)	「金沢の土木遺産 辰巳用水」
第7回 (H20. 6.09)	新潟(新潟市立上山中学校)	「これからのまちづくりに求められる視点」
第8回 (H20.10.01)	新潟(新潟市立上山中学校)	「交通・防災・福祉」 「公園・自然環境」
第9回 (H22.1.13)	金沢(金沢市立小將町中学校)	『金沢のまちのなりたち「惣構と用水の歴史と再生」』
第10回 (H23.11.18)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第11回 (H24.11.26)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第12回 (H24.12.11)	新潟(新潟市立丸山小学校)	「いつも利用している道路を例に、みちの仕組みを紹介」
第13回 (H25.6.24)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第14回 (H26.9.19)	新潟(新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」



■問い合わせ先■

(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部事務局

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル7F

TEL:025-282-3370 FAX:025-282-3371 - 4



教えて！
ケンコンさん
建設コンサルタンの
仕事と魅力

平成28年5月19日

建設現場におけるワーク・ライフ・バランスの推進 ～i-Construction時代の働き方～

1. 国土交通省では、建設現場を男女ともに働きやすい環境とするため、入札時の技術者評価において技術者の出産等の特例を平成28年度から全面導入します。
2. また、ワーク・ライフ・バランス（WLB）に取り組む企業が増加するよう、直轄工事の発注時にWLB関連認定制度を活用した評価の枠組みを導入します。
3. 建設現場においても、女性技術者等に不評であったトイレについて、快適トイレ（女性も活用しやすいトイレ）を原則化するなど、職場環境の改善等をさらに進めます。

国土交通省においては、建設現場において男女ともに働きやすい環境とするため、ワーク・ライフ・バランスを推進できる環境整備を進めてきたところですが、「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）等を踏まえ、平成28年度から次のとおり取り組んでまいります。

- ① 出産等が不利にならない仕組みづくり（技術者の出産等の特例）
入札時の技術者評価において、出産・育児等で休業していた期間を評価対象期間から控除することについて、全ての工事で実施します。
- ② 業界全体のWLB推進
建設業界でWLBに取り組む企業が増加するよう、直轄工事の発注時において認定制度を活用した評価の枠組みを導入※します。
※一般土木A等級等の工事を対象（段階的選抜方式において評価）に平成30年度での全面的な導入を目指し、今年度から一部工事で着手します。他の工事等については、取り組み状況等を踏まえて導入時期等を判断してまいります。
- ③ 長時間労働の改善
長時間労働の要因の一つとなっている、発注者への提出が必要な書類について、i-Construction（アイ・コンストラクション）によるICT土工の全面的な活用により検査書類を大幅に削減します。
- ④ 週休2日モデル工事の更なる拡大
平成26年度から取り組んでいる週休2日モデル工事については、平成27年度は56件実施しました。平成28年度は、倍増以上の件数となるよう、更なる拡大に取り組めます。
- ⑤ 快適トイレの原則化
建設現場の仮設トイレについて、本年夏頃を目途に快適トイレ（女性も活用しやすいトイレ）の設置を原則化し、職場環境を改善します。また、レンタルが中心の建設現場の仮設トイレが変わることにより、災害時に避難所等に持ち込まれる仮設トイレも変わるといった副次的効果も期待されます。

問い合わせ先

大臣官房技術調査課 TEL : 03-5253-8111 夜間直通 : 03-5253-8221 FAX : 03-5253-1536

(担当) 全般・①②関係	課長補佐	竹下 正一 (内線 22334)
(担当) ④⑤関係	事業評価・保全企画官	榘谷 有吾 (内線 22353)
(担当) ③関係	工事監視官	山下 眞治 (内線 22306)

大臣官房地方課 TEL:03-5253-8111 夜間直通 : 03-5253-8919 FAX : 03-5253-1533

(担当) ②関係	課長補佐	溝口 淳司 (内線 21954)
----------	------	------------------

土地・建設産業局建設業課 TEL: 03-5253-8111 夜間直通 : 03-5253-8277 FAX : 03-5253-1553

(担当) ②関係	課長補佐	田村 圭 (内線 24710)
----------	------	-----------------

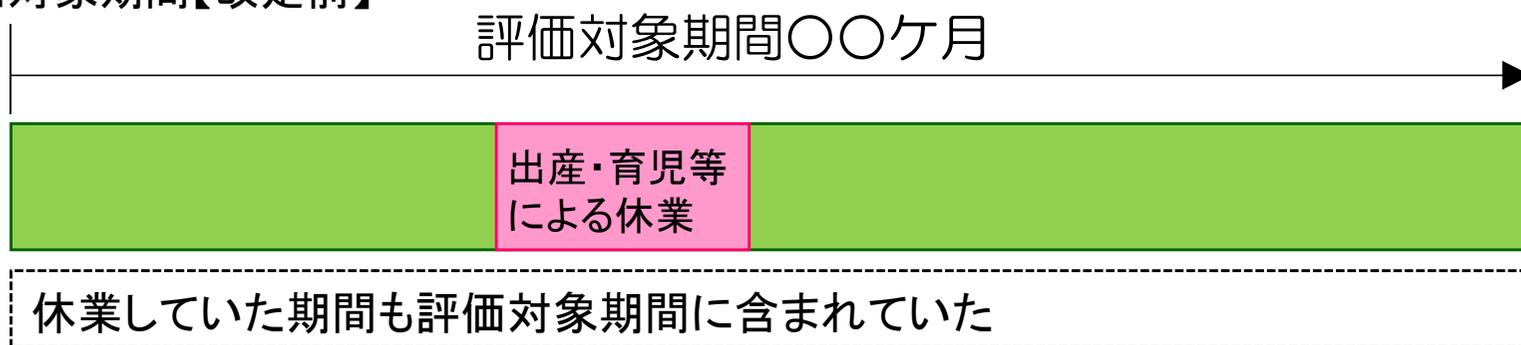
① 出産等が不利にならない技術者評価

○ 総合評価において配置予定技術者について、出産・育児等で休業していた期間も考慮して評価

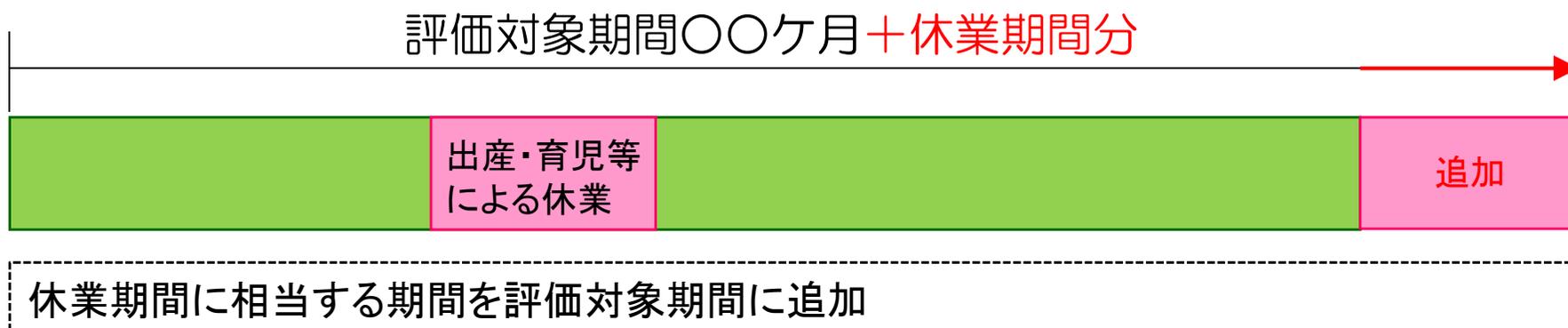
⇒ 国交省直轄工事における総合評価落札方式において原則化（H28.4 ガイドライン改定）

配置予定技術者が評価対象期間に出産・育児等で休業していた場合

■ 評価対象期間【改定前】



■ 評価対象期間【改定後】



(例)【参加資格要件】過去4年間に〇〇工事の施工実績があること
育児休業を1年間取得していた場合⇒「過去5年間」として取り扱う

②国土交通省直轄工事におけるWLB関連認定制度を活用した評価

○一般土木A等級等の工事において、認定制度を活用した評価を平成30年度までに全面的に導入。

※ 上記以外の調達については、平成28年度以降の取組結果を踏まえて検討

■導入に向けた工程表

H28年度～ 一部工事に導入（導入の効果等を検証）

導入対象工事は、基本的に政府調達協定の対象工事となるため、外国籍企業に関する確認体制等が整い、運用が開始されることが前提

H30年度 全面的に導入予定（対象：一般土木A、建築A、港湾土木A（政府調達協定対象工事）等）

段階的選抜方式において評価

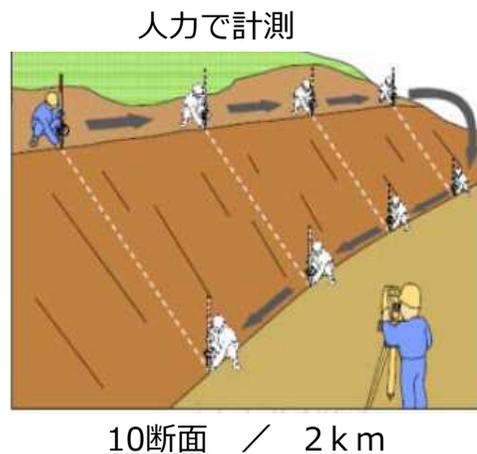
上記以外の調達についても、H28年度以降の取組状況等を踏まえ検討

※国土交通省全体のスケジュールは、下記のアドレスに掲載

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000060.html

③ i-Constructionにおける検査（長時間労働の改善）

検査日数が大幅に短縮



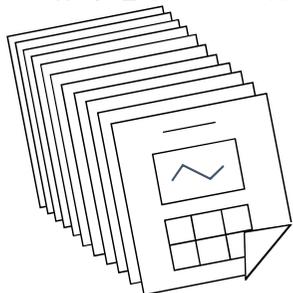
監督・検査要領（土工編）
（案）等の導入により、
検査にかかる日数が
約1/5に短縮
（2kmの工事の場合 10日→2日へ）

GNSSローバー等で計測



検査書類が大幅に削減

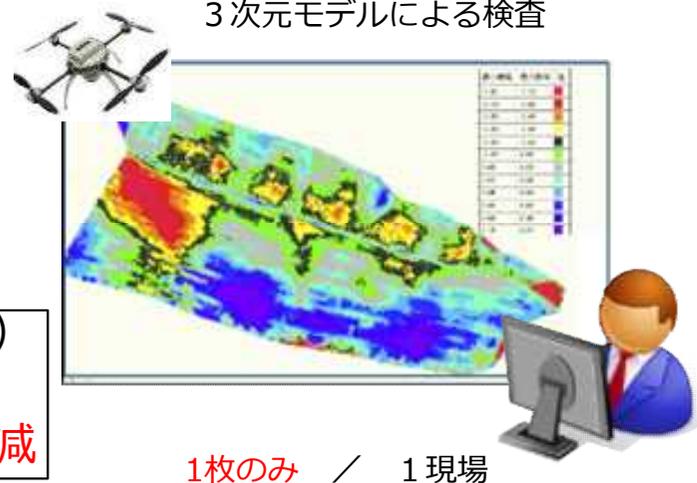
工事書類
（計測結果を手入力で作成）



受注者
（設計と完成形の比較図表）
50枚 / 2km

監督・検査要領（土工編）
（案）等の導入により、
検査書類が1/50に削減

3次元モデルによる検査



④週休2日モデル工事の更なる拡大

概要

■建設現場の就業環境改善の取り組みとして、毎週2日を休日とする「完全週休2日制工事」の試行を平成26年度より実施。

試行実施内容	H26試行	H27試行
○受注者が完全週休2日を踏まえた工程を提出。 ○週休2日が確保出来るよう受発注者で工事工程の進捗調整など	6工事	56工事

イメージ



受発注者間で工程を調整

【休日取得計画書】 平成〇〇年度 〇〇地区〇〇工事(工期 平成〇〇年〇月〇日 ~ 平成〇〇年〇月〇日)

平成27年	〇休日予定日																															休日予定日数	作業予定日数	備考	
3月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火				
工種	種別	場所	△	〇	〇	〇	〇	〇	△	△	〇	〇	〇	〇	◎	△	〇	〇	〇	〇	△	△	〇	〇	〇	〇	〇	△	△	〇	〇	9	22		
準備工																																			
鋼橋足場等設置工	新橋補強池	Dランプ橋																																	
地覆壁高橋	型枠工・Co工	"																																	
Vカット目地工		"																																	
RC床版工	鉄筋工・型枠工・Co工	"																																	
交通規制		〇〇市道																																	

⑤ 快適トイレの原則化

- ① 建設現場の仮設トイレについて、本年夏頃を目処に快適トイレ※(女性も活用しやすいトイレ)の設置を原則化し、職場環境を改善します。
- ② レンタルが中心の建設現場の仮設トイレが変わることにより、災害時に避難所等に持ち込まれる仮設トイレも変わるといった副次的効果も期待されます。

これまでの取り組み

- ・平成26年度から快適トイレを設置するモデル工事を実施。

H26: 7件

H27: 271件

今後の取り組み

- ・平成28年夏を目処に建設現場における快適トイレの標準仕様を決定。
- ・原則、全ての工事に導入

※快適トイレ: 洋式・防臭対策・施錠の強化などが実施され、女性も活用しやすい仮設トイレのこと

これまでのトイレ



快適トイレ

